

令和5年度 事業計画

I. 基本方針

新型コロナウイルス感染症の影響が長引き、住民同士のつながりが希薄化する中、ひきこもりや8050問題、経済的困窮、ヤングケアラー、虐待など、複合化・複雑化した課題を抱え、地域で孤立するケースが増えています。

令和5年度は第1次大和郡山市地域福祉活動計画の最終年度を迎え、地区社協モデル事業をはじめ、これまでの実施状況の検証をふまえて、社会福祉協議会が地域課題にどのように向き合い、取り組んでいくか等、社会福祉協議会の事業・活動の方向性、果たすべき役割・使命を見直し、更なる連携の深化を進めていきます。

また、市民一人ひとりが地域社会の一員として、住み慣れた地域でお互いに支え合い、自分らしく暮らすことのできる「地域共生社会」の実現に向けて、行政、関係機関・団体、地域住民などとともに、高齢、障がい、子ども、生活困窮といった制度の枠を超えた包括的支援体制の強化に向けて取り組んでいきます。

一方、本会の財政状況については活用できる基金は数年後には取り崩す見込みとなり、事業運営は依然厳しい状況となっています。本会として地域福祉の充実と強化を図るとともに、既存事業の見直しを行い、更なる経営の安定化及び財政の健全化に向けた取り組みを進めていきます。

1. 第2次大和郡山市地域福祉活動計画の策定に向けて、現計画の取り組みや事業の評価・課題分析を行い、更なる地域福祉の推進に向けて、次期計画につなげていきます。
2. 第1層・第2層生活支援コーディネーターが連携し、地区社会福祉協議会を中心として、生活・福祉課題に気づき、共有し、解決につなげていく「地区社協 大和郡山モデル」の仕組みを構築し、地域の多様な団体・機関をつなげ、住民主体の支えあい活動を推進します。
3. 市民に向けて成年後見制度に関する普及啓発を行い、権利擁護支援が必要な人を早期に発見し、適切な支援につなぐことができるよう、相談体制の整備、意思決定支援を重視した成年後見制度の運用に資する支援体制（地域連携ネットワーク）を構築します。
4. 「財政健全化検討会」の方針に基づき、財政の健全化に向けて、地域福祉の強化を図りながら、財源が見込める新規事業や行政からの受託事業による財源確保に努め、財源の安定化を目指します。また、組織運営においては、国の「働き方改革」による労働環境の整備を図るとともに、職員の資質向上を図り、業務の効率化を図ります。
5. 地域福祉の推進及び社会福祉協議会への理解・協力を図るため、社協だより、ホームページ、SNS等による情報発信を充実させ、地域福祉の活性化、ボランティア等の育成等、福祉意識の醸成と地域福祉への参画を促進します。

II. 事業実施計画

〈 社会福祉事業 〉

1. 福祉推進事業

1. 法人運営事業

単位：千円

本年度予算	前年度予算	比較増減
101,107	112,548	△11,441

組織の健全運営と基盤強化に努めます。

(1) 法人運営にかかる会務の運営

- ・理事会の開催
- ・評議員会の開催
- ・監事会の開催
- ・評議員選任・解任委員会の開催

(2) 事務局の体制強化と充実

- ・財政健全化及び財源の確保
- ・諸規則改正

(3) 人事・労務・人材育成

- ・健康管理、メンタルヘルス対策
- ・職員研修の実施及び参加

2. 広報・啓発事業

単位：千円

本年度予算	前年度予算	比較増減
1,755	1,479	276

① 社会福祉大会の開催

社会福祉関係者が一堂に会し、長きにわたり社会福祉活動において、功績のあった方々への顕彰を行うとともに、今後の社会福祉の発展に期することを目的に第45回大和郡山市社会福祉大会を開催します。

② 広報紙の発刊

広く市民に社会福祉協議会事業の啓発を行うため、年2回「社協だより」を発刊し、自主財源確保の一環として「社協だより」に掲載する有料広告を募集します。

③ ホームページ

ホームページの内容を充実させ、市民が求める福祉情報を迅速に提供します。

④ SNSを活用した情報発信

市社協事業やボランティア講座の案内等の情報をより多くの市民に発信するため、令和3年度開設したLINEやInstagram等、SNSを積極的に活用し、情報発信の充実を図ります。

3. 小地域福祉ネットワーク事業

単位：千円

本年度予算	前年度予算	比較増減
1,912	1,887	25

① ネットワーク事業

ひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯などの緊急時に備えるため、自宅用と外出用の緊急連絡カードを配布します。

また、民生委員、自治会長など地域住民が主体となり、地域のひとり暮らし高齢者などを訪問したり、声をかけたりしながら、互いに見守りあい支えあって生活できる体制づくりの充実を図ります。

② ふれあいいいきいきサロン事業

家に閉じこもりがちな高齢者やひとり暮らし高齢者等と地域のボランティアが集会所や自治会館などに集まり、茶話会やゲームなどで楽しく過ごすサロン事業を推進します。

③ ひとり暮らし老人等見守り事業

地区社会福祉協議会の協力員が、地区内のひとり暮らし高齢者宅を定期的に訪問し安否確認等を行います。

【訪問回数】月2回（年間24回）

4. 地域福祉活動推進事業

単位：千円

本年度予算	前年度予算	比較増減
10,919	8,854	2,065

- ① 地区社協育成費助成事業
各地区社協の運営に対して助成を行います。
- ② 地区社協推進費等助成事業
各地区社協が実施する事業や地域福祉活動に対して助成を行います。
- ③ 地区社会福祉協議会連合会の開催
各地区社協における各種事業や地域の福祉問題等についての意見交換を行います。
- ④ 第2次地域福祉活動計画策定事業
令和6年度から5カ年を計画年度とする第2次地域福祉活動計画を策定します。

5. 老人福祉推進事業

単位：千円

本年度予算	前年度予算	比較増減
6,757	6,575	182

地区敬老会事業

敬老月間において各地区社会福祉協議会で地域住民による趣向を凝らした敬老会を実施します。

【実施予定時期】9月

6. 児童福祉推進事業

単位：千円

本年度予算	前年度予算	比較増減
43	43	0

子育て支援3人乗り自転車貸出事業

子育て世帯の経済的な負担を軽減し、外出の機会も創出されるため、育児に対する不安解消の一助となるよう、3人乗り自転車の無料貸出を行います。

7. 母子・父子福祉推進事業

単位：千円

本年度予算	前年度予算	比較増減
726	730	△4

① 母子・父子家庭の集い

母子・父子家庭児童の夏休みの思い出づくりと交流の場として集いを実施します。

【実施予定時期】 7月

② 母子家庭等歳末交流事業

母子・寡婦及び父子家庭の交流の場として、クラフト体験を実施します。

【実施予定時期】 12月

③ 母子家庭研修事業助成

大和郡山市白百合会が実施する研修事業へ助成をします。

④ 母子家庭交流事業助成

大和郡山市白百合会が実施する交流事業へ助成をします。

8. 心身障害者(児)福祉推進事業

単位：千円

本年度予算	前年度予算	比較増減
4,820	4,031	789

① すくすくキッズひろば事業

障害児の余暇活動及び社会参加を促進するため、ドレミひろば（音楽療法）・チャレンジひろば（工作・絵画等）を実施します。

【実施日】 ドレミひろば 毎月第3土曜日
 チャレンジひろば 毎月第4水曜日

② 創作軽作業

障害者の社会参加の促進と交流を深めるため、絵画・陶芸・書道・音楽の教室を実施します。

【実施日】 絵画教室 毎月第1水曜日
 陶芸教室 毎月第1金曜日、第3月曜日
 書道教室 毎月第3水曜日
 音楽教室 毎月第3土曜日

③ 手話奉仕員・手話通訳者養成講座

手話奉仕員及び手話通訳者を養成するため、講座を実施します。

【実施予定時期】 入門 5月～9月(全18回)

基礎 10月～3月(全22回)

1年ずつ [スキルアップ5月～10月(全22回)

交互に実施 [ろう学校保護者等向け5月～10月(全22回)・令和5年度

④ 在宅障害者交通費補助事業

知的・精神・身体障害者が就労継続支援事業所等へ、通所する際の交通費を補助します。

⑤ 福祉機器貸出事業

旅行やケガで急に車椅子等が必要となった方へ福祉機器を貸出します。

⑥ 福祉サロン（聴覚障害者）

聴覚障害者やその家族、ボランティアが集まり、交流会や学習会等を通じて、情報交換をしたり、悩みを分かち合ったりすることで、互いにつながりを持てる場を作ります。 【実施予定日】 毎月1回

9. 援護事業

単位：千円

本年度予算	前年度予算	比較増減
73	73	0

社会を明るくする運動事業助成

郡山地区保護司会が実施する社会を明るくする運動事業に対して助成を行います。

10. 福祉団体助成事業

単位：千円

本年度予算	前年度予算	比較増減
863	861	2

社会福祉協議会と連携し活動している社会福祉関係団体及び支援を必要とする当事者団体の育成と活動を促進するため助成金を交付します。

11. ボランティアセンター運営事業

単位：千円

本年度予算	前年度予算	比較増減
2,395	2,294	101

① ボランティアセンター運営

市民のボランティア活動促進を目的に商業施設「アスモ大和郡山」内にボランティアの相談窓口を設置しています。ボランティア相談員が相談に応じ、ボランティア登録・需給調整や情報提供を行い、登録ボランティアのつながりを深めるため、交流会を実施します。また、相談員の資質向上のため、研修を行います。

② 大和郡山市ボランティア連絡協議会活動助成

大和郡山市ボランティア連絡協議会の活動に対して助成を行います。

③ ステップアップ講座

ボランティア活動者を対象に、ボランティアに関する知識・技術を学ぶことにより、資質向上・活動の活性化を目指して実施します。

【実施予定時期】 2月

④ はじめてのボランティア講座

ボランティアに関心のある方を対象に、ボランティア活動へのきっかけづくりとして実施します。

【実施予定時期】 (1) こころのサポーター講座 2月

(2) ボランティアサロン 11月・3月

⑤ 小学生ふれ愛福祉学習

小学校高学年を対象に、福祉体験や交流を通して、助け合いや思いやりの心を養い、将来のボランティア活動につなげることを目的として実施します。

【実施予定時期】 8月

⑥ 学生ボランティアゼミナール

高校生・大学生を対象に、福祉について理解を深め、ボランティア活動への参加促進を目的として実施します。

【実施予定時期】 8月

⑦ 災害ボランティアセンター事業

平成30年度に策定したマニュアルに基づき活動できるよう、災害ボランティアセンターの模擬訓練や必要備品の購入等を行います。また、必要に応じてマニュアルの見直しを図ります。

⑧ ふくしの出前講座

市民の福祉への理解を深めるため、地域福祉や障害者福祉、ボランティア、成年後見制度等について、職員による出前講座を実施します。

12. 日常生活自立支援事業

単位：千円

本年度予算	前年度予算	比較増減
1,081	1,091	△10

奈良県社会福祉協議会の委託を受け、認知症高齢者、知的障害者、精神障害者など、判断能力が不十分なため日常生活を営むのに支障がある方へ、福祉サービスの情報提供や諸手続の援助、それに付随する金銭管理等の支援を行います。

13. 生活福祉資金事務受託事業

単位：千円

本年度予算	前年度予算	比較増減
2,316	2,085	231

奈良県社会福祉協議会の委託を受け、生活に困窮している低所得者世帯及び障害者・高齢者世帯の自立に向けた資金の貸付事務と援助指導を行います。

14. フードドライブ事業（「食」の助けあい活動）

単位：千円

本年度予算	前年度予算	比較増減
664	650	14

地域住民、企業等から食品を寄付していただき、生活困窮者や子育て家庭、ひとり親家庭、その他支援団体等に食品を提供します。

15. 交通遺児奨学資金事業

単位：千円

本年度予算	前年度予算	比較増減
816	1,080	△264

交通遺児に対して奨学資金を支給します。

【金額(1ヶ月あたり)】小学生 6,000円
中学生 8,000円
高校生 10,000円
大学生・短期大学生・専門学校生 12,000円

16. 重度心身障害児援護資金事業

単位：千円

本年度予算	前年度予算	比較増減
535	2,520	△1,985

重度心身障害児に対して援護金を支給します。

【金額(年額)】 5,000円

17. 善意銀行運営事業

単位：千円

本年度予算	前年度予算	比較増減
1,677	1,247	430

善意の金品を受託・管理し、福祉事業に有効活用します。

18. 児童発達支援事業(発達支援センター「めばえ」)

単位：千円

本年度予算	前年度予算	比較増減
18,188	31,684	△13,496

療育の観点から個別療育、集団療育を行う必要が認められる就学前児童を対象に日常生活の基本的動作や集団生活に適応することができるよう、その児童の身体及び発達の状況並びにその置かれている環境に応じて適切な指導及び訓練を行います。

また、保護者との相談の場や親子教室と幼児教室を設け、幼稚園・認定こども園や保育園との併行通園を行い、保健センター等併せて、専門知識の情報の収集に努め、職員の資質の向上を図ります。

19. 手話通訳派遣事業

単位：千円

本年度予算	前年度予算	比較増減
9,242	8,908	334

大和郡山市より委託を受け、病院や学校などでの聴覚障害者の情報保障のため、手話通訳者を派遣します。

20. 生活支援体制整備事業

単位：千円

本年度予算	前年度予算	比較増減
35,214	34,075	1,139

高齢者が地域で自分らしく暮らしていけるよう、大和郡山市から委託を受け、生活支援コーディネーター（第1層1名・第2層4名）を配置し、住民が主体となって取り組む「支えあい・助けあい活動」の支援、また、その担い手の養成・発掘に取り組めます。

21. 成年後見支援センター運営事業

単位：千円

本年度予算	前年度予算	比較増減
12,175	11,790	385

大和郡山市より委託を受け、認知症や知的・精神障害などにより判断能力が低下した方の権利を擁護し、安心して地域で暮らしていけるよう成年後見制度に関する相談業務を行います。また、権利擁護に関する機関のネットワークの構築を図ります。

2. 指定管理事業

22. 社会福祉会館運営事業

単位：千円

本年度予算	前年度予算	比較増減
18,660	18,530	130

市民の社会福祉の増進と福祉活動の育成発展のための活動拠点として、各種団体の交流、研修、ボランティアの養成、福祉情報の提供などを行い、市民の福祉向上を図るため、福祉ゾーン利用者駐車場とともに、社会福祉会館の管理運営を行います。

23. 老人福祉センター運営事業

単位：千円

本年度予算	前年度予算	比較増減
41,301	38,392	2,909

高齢者の生きがいと健康づくり、レクリエーションや各種教室等による教養の向上を図り、高齢者の憩いの場となることを目指して、老人福祉センターの管理運営を行います。

- 【実施予定事業】 高年者大学 6月開講（全9回）
高年者まつり 9月
音楽健康体操 毎月2回開催（内1回は市主催）

〈 収 益 事 業 〉

3. 駐車場等管理事業

24. 駐車場等管理事業

単位：千円

本年度予算	前年度予算	比較増減
109,814	146,468	△36,654

収益事業として、駐車場3ヶ所・駐輪場2ヶ所の管理運営を行い、高齢者等の雇用の場として効率的な経営を行います。

なお、前年度に引き続き積立資産を取り崩し、諸事業の財源に充当する予算を計上しています。